

「神は鏡」

靈界で観れば地上に働き居る人の姿は靈界に鏡の如くに写り、総てその人の精神を現わす。靈界には偽りも正しきも皆写る。靈界に一つの物事が顕われれば現界に現れる。それで現界を現世うつしよという。神を鏡とするのはこの意味で、人は天命によって生まれ来た神の分靈ぶんれい・分體ぶんたいであり、生まれながら神より魂を賦与される。故に人は萬物の靈長という。その靈長は宇宙の靈魂たましいとなる。宇宙大精神に基づいてわれ等の使命を果たすのがよい。神のおおみこころの大御意おほみこころに副い奉ってこそ人生の意義がある。